

2021

# レース結果報告書

全日本選手権 第1戦 茂木大会



株式会社ドッグファイトレーシング

# 全日本選手権・レース結果

## Race

2021年の全日本選手権が開幕しました。昨年はコロナ過で大幅なスケジュール変更が有り、開幕戦に予定された茂木大会は秋に変更となりましたが、今年は予定通りに開幕戦で無事に開催する事が出来ました。今期は昨年アジア選手権に参戦した豊島怜が国内戦に復帰。これに昨年のフル参戦メンバーの藤田拓哉、谷本音虹郎、中澤孝之のフル参戦メンバーが加わり、ST1000クラスに4台のエントリーと過去最大のチャレンジの開幕戦となりました。

新型に乗り換えてタイトルを目指す藤田拓哉。谷本と豊島の二人のライバル対決とその成長、そしてフル参戦2年目で結果を求められる中澤と4者4様のゴールを目指した開幕戦のレース結果をご報告致します。

タイトル：全日本選手権 第1戦 ツインリンク茂木大会

開催日：2021年4月3～4日

観客動員：13000人（2日間合計）

リザルト：	#4	藤田拓哉	予選16位	決勝6位
	#17	谷本音虹郎	予選19位	決勝32位
	#31	中澤孝之	予選31位	決勝17位
	#47	豊島 怜	予選18位	決勝14位



# レース報告・藤田拓哉 #4

## Race

### 公式練習・公式予選 (4/1~4/3)

新型に乗り換えてスランプに陥ってしまった藤田。事前テストでも去年のタイムに届かない中で、一抹の不安を抱えながらもメカニックと共に1からリスタートと覚悟を決めて1歩1歩慌てずにセットアップを詰めて行きました。公式予選までに着実にタイムを詰めて行きますが、満足いくタイムまで詰め切る事が出来ないまま公式予選を終え6列目16番手と想定外のポジションとなってしまいました。決勝でも厳しいレースが予想されましたが、日曜日の天気予報が微妙になり、雨の場合のセットアップなど入念なミーティングの上決勝の朝を迎えました。

### 決勝 (4/4)

ドライタイムだとトップとかなりの差が当たったので、とにかく全力で前だけを追っかける事を意識して、とにかく前に前にと心がけて決勝レースにのぞみました。決勝レースでは、天候に物凄く左右される事になり、ドライタイヤで行くか、レインタイヤで行くか迷いました。最終的には、監督、メカニックの後押しもあり、ドライで行こうと判断が一致して、ドライタイヤで行く事にしました。序盤は、路面がまだ濡れていて、ドライタイヤの自分は、焦らず冷静にコントロールしようと心がけて、ドライになるまで我慢しました。普段のレースでは、なかなか無い冷静な自分がいて、走りは安定してきていたのですが、レインタイヤを装着しているライダーに先行されてしまいました。しかし、とにかく今は我慢我慢と思いながら、ドライになるまでじっと待っていました。その後少しずつドライになり、とにかく前に前にとがむしゃらに走りました。気づいた時にはチェッカーを受けていて、自分の順位も分からないくらい前に前にと思いながら走り抜けました。運も味方してくれて、最終結果は6位で入賞する結果となりました。今回、本当に監督、チーフメカニック、チームサポーターに助けられての6位でした。ウィーク通して特にチーフメカニックには、寝ずに考えてもらい本当に感謝です。この感謝の気持ちを次戦のSUGOに向けて、必ず今回以上の順位になれるように日々頑張っていく予定です。次戦に向けて、チームスタッフ様、スポンサーの皆様、そしてファンの皆様、引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

# レース報告・谷本音虹郎 #17

## Race

### 公式練習・公式予選 (4/1~4/3)

ST1000クラス2年目を迎えた谷本はいつものように淡々とマシンセットアップと自身のペースアップを進めセッションごとに着実に自己ベストを更新してゆきます。良い流れの中で臨んだ公式予選では、コースインのタイミングを遅らせて単独でクリアラップの中タイムアップを目指しましたが、マシンのマイナートラブルで一旦ピットイン。再びコースインしますがタイミングを逸してしまいます。かろうじて自己ベストは更新しましたが、目指していたタイムには届かず、チーム内のライバルである豊島選手に一步遅れる19番手から決勝に臨むこととなりました。

### 決勝 (4/4)

決勝は始まる直前に雨が降ってきて、その後路面が乾いていくという難しいコンディションになりました。タイヤ選択に迷ったのですがメカニックと相談しドライタイヤでコースインしましたが、実力不足などもあり空回りしてしまい、ウォームアップラップでコースアウト転倒してしまいました。グリットに戻ることは出来ましたがスタートを失敗してしまいその後1コーナーで転倒してしまいました。ピットに戻りなんとかマシンを修復してレースに復帰する事が出来てぎりぎり完走する事が出来ました。

ウィークの流れは悪くはなかったのですが目標タイムをクリアすることが出来ず、決勝では自分のミスで空回りして不甲斐ない結果で終わってしまいチームや応援してくださった方々に申し訳ない気持ちでいっぱいです。次戦のSUGOでは今回のレースウィークで見つかった課題を1つ1つ詰めていき、より上位で戦えるように頑張ります。



# レース報告・中澤孝之 #31

## Race

### 公式練習・公式予選 (4/1~4/3)

去年は初めてのコースや全日本の流れに飲み込まれてしまい思うような結果を残す事が出来なかった悔しさから、再びフル参戦を決意した大事な開幕戦。事前テストで良い感触を掴みレースウィークに入り初日から56秒台と上々な滑り出しでしたが、そこから詰め切れなままのウィークで予選は31位に沈んでしまいました。このままでは去年と同じ流れになってしまうと、気持ちを切り替えてメカさんたちとセットアップの再チェックやライディングについてミーティングをして決勝に臨むこととなりました。

### 決勝 (4/4)

決勝直前に雨が落ちてウェット宣言が出されたものの、雨量は少なく路面は乾く可能性もあったので、サイティングラップ5分前にドライタイヤに変更してコースイン。様子を見ながらグリッドに着こうとしますが、路面はレインタイヤに替えたい程に濡れていて、かなり気持ち的にオーバースタートになっていました。序盤はとにかくコースに残ること、そう言い聞かせてスタートは無難に順位相当でオープニングラップを終えます。レインタイヤが有利な状況で、次々と転倒、コースアウトが発生し、その中に同じチームの音虹郎選手が含まれる事に心を痛めながらも、周りのライダーの挙動に注意しながら、慎重にラップを重ねます。レース中盤、雨粒はスクリーンを叩くもののラインは乾き始め徐々にペースアップ。後半はレインタイヤ勢が次々と脱落していく中、無事走り切って17位完走となりました。

昨年までならポイントを得られていた順位ですが、今年は15位までなのでノーポイント。予選順位が悪かったことが悔やまれます。開幕戦を迎えるにあたり、ご協力頂きましたAnija様、千葉スチール工業様を始めとするスポンサーの皆様、クルー、チームスタッフ、多くの方々の支援に感謝致します。次戦はSUGOになります。去年のリベンジを果たす所存でございますので、引き続きご支援の程、宜しくお願い致します。



# レース報告・豊島怜 #47

## Race

### 公式練習・公式予選 (4/1~4/3)

去年の茂木大会以来のレースでしたが、「今回の予選までに52秒台に入らなければ決勝は無い」と監督から宿題を課せられていました。事前テスト・レースウィークとセッションごとに自己ベスト更新で53秒台前半までタイムを詰める事が出来て、予選で絶対に52秒台に入れる気合でコースイン。最後のフルワンアタックでタイムを更新したと思いましたが、結果は53秒0とギリギリアウト。それでもGPSタイマーではギリギリセーフと監督から決勝出走のお許しが出て日曜日の決勝に向け気分も盛り上がってきました。

### 決勝 (4/4)

決勝はとても難しいコンディションでタイヤ選択が非常に重要でした。自分はレインタイヤを選択しましたが、その交換作業でメカさんが何やら慌ただしい雰囲気。なんとリヤアクスルシャフトが抜けなくなりレインタイヤに交換できない。時間が迫り「コースインできないまま決勝走れないかも」と不安がよぎりましたがメカさんたちの懸命の作業でギリギリコースインする事が出来ました。ウォームアップラップを終えると小雨が落ち路面はウエット。落ち着いてスタートを切り1周目に一気に18位から2位まで順位を上げ、そのままリードを保とうと思いましたが、その後は路面が乾いてしまい、レインタイヤがボロボロになりズルズル順位を落としながらなんとか最後まで集中して走り切り、14位でポイント圏内に留まりました。テストからレースウィークにかけて、毎走行ベストを更新してこれましたが、次戦はもっと早くから高い領域で走れるように頑張ります。沢山の応援、サポート頂きありがとうございました。



# 監督コメント

## Ofisyaru Comment

昨年はコロナによるスケジュール変更などに振り回されながら、良い部分と悪い部分と色々あった1年でした。しかし当初掲げたタイトル奪取はかなわず、若手育成もまだまだ道半ば。その為今年は今一度目標を掲げて、覚悟を決めて臨む1年としました。藤田にはタイトル獲得に向けマシンも一新。信頼できるメカニックたちでスタッフを固めチーム一丸で最高位を目指します。開幕はスランプに苦しんだ藤田ですが、メカ達と1歩1歩前進中です。結果的にギリギリの所で踏みとどまれる順位で終わった事はラッキーでした。

そして若手育成です。昨年アジア選手権でSS600を走った豊島に600では無くあえてST1000に参戦。谷本とのライバル関係を作り、互いの成長を狙いましたが事前テストから思惑通りバチバチの意識でチーム内に良い緊張を生み出してくれています。レース結果は明暗が分かれましたが、それもよい経験。次戦ではどちらか上になるか判りません。最終戦までに2人がどこまで成長できるか、来年のアジア選手権にチャレンジできるレベルまで成長できるかを楽しみに見守ってゆきます。

中澤もレース活動で初めて一生懸命スポンサー活動を頑張りケリッドにマシンを並べてくれました。レースをすることの厳しさ、大変さを身をもって若手に教えてくれる大切なプレイヤーです。

素晴らしいライダー、メカニック、スタッフと共に最高のレースを見せられるよう次戦も頑張ってまいります。引き続き皆様のご声援・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング  
代表 室井秀明

# スポンサー



竹中興運



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2021年も頑張ります！



柴田工芸





# DOG FIGHT R

株式会社ドッグファイトレーシング  
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122

